

「実行計画書」構成モデル

1. 目的

- (1) パッケージ導入の目的
パッケージ導入の目的と経緯
パッケージ導入の背景と理由
- (2) 現状の問題点と課題(事業、経営管理・取引関連・業務処理)

2. 期待効果

- (1) 経営から見た期待効果(定量的効果・定性的効果)
- (2) 取引関連・顧客サービスからの期待効果
- (3) 業務処理の期待効果(管理指標の向上・業務プロセスの効率化)
- (4) 情報活用基盤の強化による期待効果

3. 前提条件

- (1) 稼動時期(一斉稼動、分割稼動)
- (2) 既存環境の取扱い(ハードウェア・ネットワーク・システム)
- (3) 対象組織(拠点・店舗・工場など)
- (4) 制約事項

4. パッケージ導入の対象範囲

- (1) 業務/管理の対象範囲
- (2) システム機能の対象範囲
- (3) 他システムとの連携、EDI取扱い

5. パッケージ導入(情報システム)の基本方針

- (1) 「目的・期待効果の実現」の根拠
- (2) 導入作業の進め方
- (3) システム機能の方針(性能、拡張性、重視する機能…)
- (4) 運用の要件と体制、社会的要件
- (5) ハードウェア・ネットワーク・パソコン・他機器の取扱い

6. 作業スケジュールと作業関連

- (1) マスタスケジュール
- (2) 詳細スケジュールと作業内容
- (3) 作業の手順と関連図(PERT図)
- (4) 作業の成果物と完了基準、レビュー定義
- (5) 自社・ベンダの役割分担
- (6) 分科会(グループ)設置と作業内容・ルール

7. 「作業フェーズ」の作業内容(注:具体化できる範囲で)

- (1) 作業の方針と目的
- (2) 作業内容とスケジュール・担当(詳細:WBS記述)
- (3) 成果物(作業フェーズごとに記述)
- (4) 次作業フェーズへの連携/引継ぎ

8. プロジェクト体制と運営

- (1) 自社、ベンダの体制図とその責任分野
- (2) プロジェクト運営(会議体・開催サイクル・参加者…)
- (3) 問題管理、変更管理、進捗管理、品質管理
- (4) 運営ルール(情報共有・コミュニケーション・厳守事項…)
- (5) プロジェクト運営のチェック基準
- (6) 中間/最終成果物の合意と承認ルール
- (7) 作業環境(場所、作業機器、情報連携…)

【添付資料】

対象システム機能の詳細
WBSの詳細版
問題管理、変更管理、進捗管理の詳細手順
想定されるリスク要因一覧
データ・資料など